

泉生産組合だより

発行人: 矢來幸位知

野菜教室 年3回開催へ

去年は6000㎡の農地が消える



泉生産組合の新年総会は1月29日、泉文化会館で組合員36人(うち委任状出席13人)が参加して開かれ、矢來幸位知組合長の挨拶に続き、28年度の収支決算報告、29年度の行事内容、決議事項を審議し、執行部案通り承認されました。矢來組合長は新しい取り組みとして昨年好評だった野菜教室を今年は春(3月8日)、夏(5月24日)、秋(8月2日)の3回、今井周一県央農林総合事務所OBを講師に開催する計画を提案しました。都市農家の「農」のある暮らしが見直されている昨今、土作りの基本をしっかりと学び、手作り野菜の本物の味を忘れないよう家族や地域に伝えていく試みも、新しい都市農家のあり方考える一助になると思われます。質疑の中では、生産組合会計の収支が年間30万円近く赤字になることから応分の負担を求める組合費の値上げ案も出ましたが、組合長から繰越金にまだ余裕がことから据え置きとする見解が示されました。ただ、去年は約6000㎡も農地転用があり、泉の農地は当初の62000㎡からさらに減少、この厳しい流れが続けば早晩、生産組合の存在基盤も揺らぎかねないと警鐘を鳴らし、課題解決に向け組合員の結束を訴えました。